

## 軽米病院だより

### 病院の得手・不得手や「かかりつけ医」

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

普通、広報は自分たちの良いところをPRするものですが、今回はあえて不得手な部分をお話ししちゃいます。

外科は現在胃癌・大腸癌などの手術を行っていませんし、骨折にも対処できません。内科は幅広く診てくれていますが、心臓や脳の病気は週1回の専門外来以外は難しいです。小児科は4月から午前中の外来だけになりました。あと、夜間・休日はレントゲンや検査は遠方からの呼び出しになります。笑い話ではないですが、脳梗塞疑

いの人が救急搬送された際に、レントゲンの当番技師は二戸病院の方でしたので、二戸からうちまで来てもらって、CTを撮影して「やっぱり脳梗塞だね」となって、二戸に再び搬送されることもあります。

もちろん、当院では糖尿病などの生活習慣病に強いですし、施設で具合が悪くなった方にも幅広く対処しています。またACP (Advance Care planning) と呼ばれる「将来の意思決定」について寄り添う部分も重点目標としてしていますので、いろいろな相談に乗っています。

私たちは、皆さんの「かかりつけ医」の役割を担って、必要とあれば大きな病院へ紹介することが重要と考えています。